



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3409 URL http://www.ktbo.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)直山 秀人
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)大杉 幸正 (TEL)076(277)7530
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	279	16.7	△1	—	△5	—	△4	—
23年3月期第2四半期	239	△17.0	3	—	△5	—	△35	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △68百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △36百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0 36	—
23年3月期第2四半期	△2 89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,073	1,042	50.3
23年3月期	2,183	1,111	50.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,042百万円 23年3月期 1,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年3月期	—	0 00			
24年3月期(予想)			—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	531	14.3	△9	—	△21	—	△18	—	△1 49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期2Q	12,911,000株	23年3月期	12,911,000株
24年3月期2Q	555,208株	23年3月期	554,708株
24年3月期2Q	12,356,042株	23年3月期2Q	12,357,736株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月の東日本大震災の影響で急激なショックによる、かつてない落ち込みがありました。サプライチェーンの建て直しが進んだことから景気回復の動きが見られております。しかしながら、企業の設備投資は弱く、雇用環境も厳しい状態が続いております。また、為替相場も超円高が続いており、輸出採算の悪化、輸入製品の増加といった不安要因もあり、実態として停滞感が増しております。

先行きにつきましては、為替相場の超円高や不透明感を増す海外の経済情勢を背景に景気腰折れ懸念・産業空洞化懸念が高まっており、個人の景況感も悪化に転じております。

繊維景況は、衣料関係では節電対応のクールビズ商品等の実用衣料、ダウンジャケット向け高密度織物は堅調に推移しております。また、自動車関連需要に索引された資材関係もサプライチェーンの復旧により急速に回復してきております。

当社の産業資材分野では、アラミド繊維（高機能難燃繊維）・高強度繊維ともに自動車関連資材向け中心に震災の影響による大きな落ち込みが心配されましたが、影響は微減となり、アラミド繊維全体の売上高は前年同四半期に比べ12百万円減少し、1億29百万円となりました。

一方、一般衣料紡績糸やインテリア用については、本年3月に操業を開始しました原着紡績設備の本格稼働によりカーテン用途や作業服用用途等の受注が増加したため、売上高は前年同四半期に比べ52百万円増加し、1億50百万円となりました。

このような状況の中、当社グループ（当社及び連結子会社）の業績は、売上高は前年同四半期に比べ40百万円増収し2億79百万円となりました。しかしながら、主力商品であるアラミド繊維の受注が減少したこと等により、営業損失は1百万円（前年同四半期は3百万円の営業利益）、経常損失は5百万円（前年同四半期は5百万円の経常損失）となり、四半期純損失は4百万円（前年同四半期は35百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ1億9百万円（△5.0%）減少し、20億73百万円になりました。この減少の主な要因は、現金及び預金が17百万円、減価償却費の計上等により有形固定資産が24百万円、保有株式の時価が下落したことにより投資有価証券が71百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ40百万円（△3.8%）減少し10億31百万円になりました。この減少の主な要因は、短期借入金が6百万円、約定返済により長期借入金が20百万円、保有株式の時価下落により繰延税金負債が9百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円（△6.2%）減少し、10億42百万円になりました。この減少の主な要因は、保有株式の時価が下落したことにより、その他の有価証券評価差額金が64百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、継続的に営業損失を計上し、当連結累計期間においても1百万円の営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。当社グループは、当該状況を解消すべく、平成23年3月から原着紡績設備を本格稼働させ、高付加価値糸へのシフト化に取り組むとともに、高機能繊維の開発に注力し、業績回復に努めております。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提に作成されており、上記のような重要な影響を連結財務諸表に反映しておりません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	136,343	119,320
受取手形及び売掛金	50,740	61,293
製品	3,597	3,970
仕掛品	8,858	7,069
原材料及び貯蔵品	9,287	1,715
その他	4,394	3,391
流動資産合計	213,223	196,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	652,005	637,522
機械装置及び運搬具（純額）	120,133	111,236
土地	858,457	858,457
リース資産（純額）	1,227	1,043
その他（純額）	2,359	1,802
有形固定資産合計	1,634,183	1,610,062
無形固定資産		
リース資産	1,372	1,166
ソフトウェア	1,132	988
施設利用権	807	807
無形固定資産合計	3,313	2,963
投資その他の資産		
投資有価証券	319,945	247,982
その他	12,430	15,955
投資その他の資産合計	332,375	263,937
固定資産合計	1,969,872	1,876,963
資産合計	2,183,096	2,073,724

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,987	30,659
短期借入金	597,540	591,146
リース債務	819	819
未払法人税等	1,119	1,005
賞与引当金	4,010	3,360
その他	31,000	29,425
流動負債合計	666,476	656,415
固定負債		
長期借入金	40,576	19,700
リース債務	1,911	1,501
繰延税金負債	59,744	50,594
再評価に係る繰延税金負債	287,194	287,194
退職給付引当金	5,450	5,452
役員退職慰労引当金	10,439	10,439
固定負債合計	405,315	374,882
負債合計	1,071,791	1,031,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,000	714,000
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	30,114	25,681
自己株式	△57,289	△57,303
株主資本合計	688,082	683,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,297	△53,133
土地再評価差額金	411,924	411,924
その他の包括利益累計額合計	423,222	358,791
純資産合計	1,111,304	1,042,426
負債純資産合計	2,183,096	2,073,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	239,770	279,807
売上原価	175,605	222,945
売上総利益	64,165	56,861
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	7,600	6,100
役員報酬	6,306	7,335
給料及び手当	18,426	19,573
賞与引当金繰入額	551	963
その他	27,751	24,063
販売費及び一般管理費合計	60,635	58,036
営業利益又は営業損失(△)	3,529	△1,174
営業外収益		
受取利息	27	20
受取配当金	3,118	2,667
不動産賃貸料	1,871	1,613
助成金収入	2,021	337
その他	2,089	1,436
営業外収益合計	9,127	6,075
営業外費用		
支払利息	9,780	9,252
その他	8,217	1,445
営業外費用合計	17,998	10,697
経常損失(△)	△5,340	△5,797
特別利益		
固定資産売却益	13,300	—
特別利益合計	13,300	—
特別損失		
固定資産処分損	46,058	—
特別損失合計	46,058	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,099	△5,797
法人税、住民税及び事業税	254	254
法人税等調整額	△2,635	△1,618
法人税等合計	△2,381	△1,364
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△35,718	△4,433
四半期純損失(△)	△35,718	△4,433

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△35,718	△4,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,180	△64,430
その他の包括利益合計	△1,180	△64,430
四半期包括利益	△36,898	△68,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,898	△68,863
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、継続的に営業損失を計上し、当連結累計期間においても1百万円の営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。当社グループは、当該状況を解消すべく、平成23年3月から原着紡績設備を本格稼働させ、高付加価値糸へのシフト化に取り組むとともに、高機能繊維の開発に注力し、業績回復に努めております。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提に作成されており、上記のような重要な影響を連結財務諸表に反映しておりません。

(4) セグメント情報等

当社及び連結子会社の事業は、紡績糸の生産・販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。